

育児支援のための 揺動型ベビーベッド（スイマ）の研究開発

未来型ベビーベッドで世界中のママを助けたい！

芸術工学部

- インダストリアルデザインコース
- 工業設計学科

藤 智亮



ヒトは、生物学的にみんな（父親や祖父母や近隣の人々など）で子を育てる動物です。大きな脳をもつヒトを育てるにはみんなの力が必要なのです。しかし、近年では核家族化により、子育ての負担は母親一人に集中しています。その結果、実に6割以上の母親がうつ状態になっています。この問題に対して本研究では、母親の育児負担の軽減を目的とした揺動型ベビーベッド（スイマ）を開発しました。泣く子を抱いてあやすのは重労働です。この重労働をスイマに任せ、心身に余裕ができたなら、その分たくさんの愛情を赤ちゃんに注いで欲しい。スイマはそんな想いをこめて作った製品です。



データに基づき
心地良い揺れを実現



心地良い揺れに関する実験風景



保育園でのフィールド実験の様子



試作機製作の様子



洗濯中は suima が抱っこ



お料理中も suima が抱っこ



製造・販売：アイクオーク株式会社